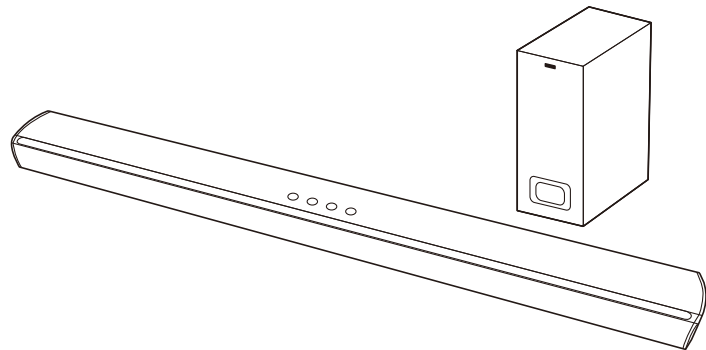


Bluetooth・HDMI/ARC対応 サウンドバースピーカー(サブウーハーセット) 取扱説明書



この度は、Bluetooth・HDMI/ARC対応サウンドバースピーカー「400-SP094」(以下本製品)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書では、本製品の使用方法や安全にお取扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前によくご覧ください。読み終わったあともこの取扱説明書は大切に保管してください。

最初にご確認ください

お使いになる前に、セット内容がすべて揃っているかご確認ください。
万一、足りないものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

セット内容

- ①サウンドバー..... 1台
 - ②サブウーハー..... 1台
 - ③専用リモコン(3V CR2025電池×1個付属)..... 1個
 - ④3.5mmステレオミニジャックケーブル(約1.5m)..... 1本
 - ⑤RCA-3.5mm変換ケーブル(約1.5m)..... 1本
 - ⑥光デジタルケーブル(約1.5m)..... 1本
 - ⑦ACコード(約1.4m)..... 2本
 - ⑧取扱説明書・保証書(本書)..... 1部
- *欠品や破損があった場合は、品番(400-SP094)と上記の番号(①~⑧)と名称(ACコードなど)をお知らせください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがあります。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

安全にお使いいただくために

■絵表示の意味

⚠ 注意 人がけを負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容

❗ 注意していただきたいことを記載しています。

⚠ 注意

- 使用する前に音量を最小にしてください。突然大きな音がすると、聴力を損なう恐れがあります。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聴くと、聴力に悪影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。
- 内部に燃えやすいものや水などの液体が入った場合は、使用を中止し、お買い上げいただいた販売店または弊社にご相談ください。そのままご使用になりますと、火災や故障および感電事故の原因になります。
- 内部を開けますと、故障や感電事故の原因になります。内部に触れることは絶対におやめください。また、内部を改造した場合の性能劣化については保証いたしません。
- 濡れた手で本製品のケーブル等を抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- 本製品を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。
- ペースメーカーなどの医療機器を使用している方は、医師に相談の上で使用してください。
- 小さいお子様には使用させないでください。

- 本製品を使用したことによって生じた動作障害やデータ損失などの損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品はBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。
- 本製品は一般的な職場やご家庭での使用を目的としています。本書に記載されている以外のご使用にて損害が発生した場合は、弊社は一切の責任を負いません。
- 医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下で使用しないでください。
- 高い安全性や信頼性が要求される機器や電算機システムなどと直接的または間接的に関わるシステムでは使用しないでください。
- 飛行機の通信システムを妨害する恐れがありますので、飛行機で本製品を使用しないでください。
- 使用しないときは、本製品の電源を切っておくことをお勧めします。本製品は、他のBluetooth機器からの接続要求に応答するため、常に電力を消費しています。

1. Bluetoothについて

- 本製品の使用周波数帯では、産業・科学・医療用機器等のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。
- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、使用場所を変えるか、速やかに電波の発信を停止してください。

2. 良好な通信を行うために

- 他の機器と見通しの良い場所で通信してください。建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートや人間の身体(接触した状態)などを挟むと、雑音が入ったり通信不能な場合があります。
- Bluetooth対応のヘッドホン・ヘッドセット・スピーカーなどの音楽・音声機器とマウス・キーボードなどを同時に接続し使用した場合、音楽や音声途切れることがあります。
- Bluetooth接続においては、無線LANその他の無線機器の周囲、電子レンジなど電波を発する機器の周囲、障害物の多い場所、その他電波状態の悪い環境で使用しないでください。接続が頻りに途切れたり、通信速度が極端に低下したり、エラーが発生する可能性があります。
- IEEE802.11g/bの無線LAN機器と本製品などのBluetooth機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、近くで使用すると互いに電波障害が発生し、通信速度が低下したり接続不能になる場合があります。この場合は、使用しない機器の電源を切ってください。
- 無線機や放送局の近くで正常に通信できない場合は、使用場所を変更してください。

デバイス名	400-SP094
-------	-----------

3. 特長

- 薄さ45mmのスリムデザインで高音質/高出力なサウンドバースピーカーです。テレビのデザイン性やリモコン機能などを阻害することなく設置することができます。
- 自由な位置に設置できるワイヤレスサブウーハーとのセットモデルでフロントサウンドバーと連動し、迫力の重低音を楽しむことができます。
- サウンドバー部の高音域用ツイーター2基と中低音再生用のウーハー4基、低音再生専用のワイヤレスサブウーハーの組み合わせで迫力の高音質を再現します。
- HDMI/ARC対応でテレビ放送をサウンドバースピーカーから再生したりテレビの電源ON/OFFとサウンドバーの電源を連動させることが可能です。
- HDMI/ARC対応テレビとの接続であればテレビの他ポートに接続されたHDDレコーダーやゲーム機の音声もARC機能を利用してサウンドバースピーカーから出力させることができます。
- Bluetooth対応でスマートフォンやタブレットの音楽をワイヤレスで伝送し高音質で音楽を楽しむこともできます。
- 光デジタル・Coaxial入力を搭載しており高音質なデジタル音声信号を再生可能です。
- 3.5mmステレオミニジャック入力にも対応しており様々な音声入力に対応します。
- ジャンルに合わせて選べる3つのサウンドモードを搭載しています。(ニュースモード/映画モード/音楽モード)

4. 仕様

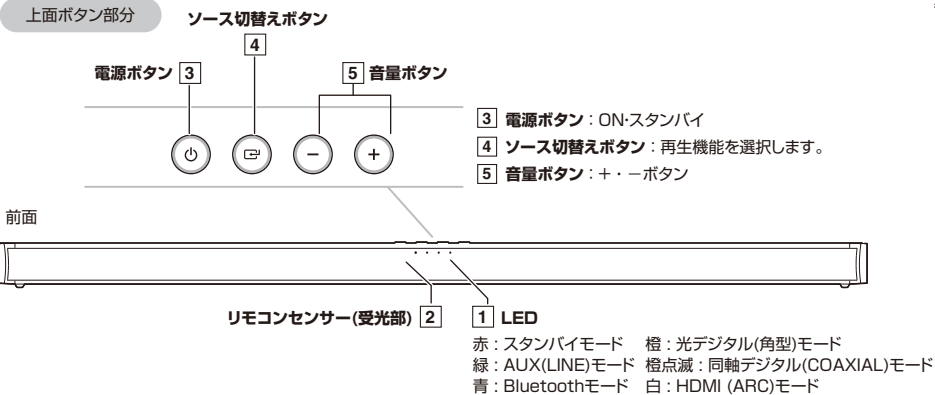
<スピーカー部>	
実用最大出力	200W(サウンドバー100W、サブウーハー100W)
周波数特性	サウンドバー：65Hz~20000Hz、サブウーハー：60Hz~150Hz
スピーカーサイズ	サウンドバー：スピーカー/2インチ(直径53mm) ツイーター/1.25インチ(直径31mm) サブウーハー：5インチ(直径120mm)
入力端子	HDMI：HDMI(ARC)×1 デジタル入力：光デジタル(角型)×1、同軸デジタル(Coaxial)×1 アナログ入力：ステレオミニプラグ(3.5mm)×1
電源	AC電源
使用温度範囲	0℃~40℃
スピーカー形式	サウンドバー：密閉型フルレンジスピーカーシステム サブウーハー：バスレフ型スピーカーシステム
対応音声フォーマット	HDMI入力：LPCM2ch(最大24bit 96kHz) 光デジタル入力：LPCM2ch(最大24bit 96kHz) アナログ入力：LPCM2ch(最大24bit 48kHz)
製品サイズ・重量	サウンドバー：W900×D86×H45mm・約2000g サブウーハー：W150×D220×H320mm・約2800g

<Bluetooth部>	
適合規格	Bluetooth Ver.2.1~4.2
対応プロファイル	A2DP、AVRCP
オーディオコーデック	SBC
通信距離	最大約10m ※使用環境によって異なります。
送信出力	Class 2
対応機種	Bluetooth 4.2以下のBluetoothデバイスに対応 Bluetooth内蔵スマートフォン、iPad・iPhone、パソコンなど

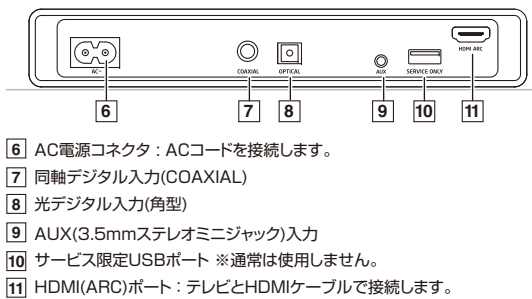
<共通仕様>	
セット内容	サウンドバー×1、サブウーハー×1 3.5mmステレオミニジャックケーブル(約1.5m)×1 RCA-3.5mm変換ケーブル(約1.5m)×1 専用リモコン(3V CR2025電池×1個付属)×1 ACコード(約1.4m)×2 光デジタルケーブル(約1.5m)×1 取扱説明書(保証書)×1

5. 各部の名称

① サウンドバー

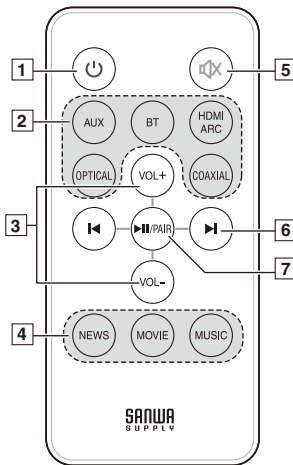


背面 ジャック部分

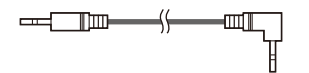


③ リモコン

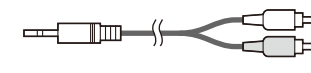
- 1 電源ボタン(ON・スタンバイ)
- 2 ソース切替えボタン：再生機能を選択します。
- 3 音量ボタン(+・-)
- 4 イコライザー：イコライザー効果を選択します。
- 5 ミュート(消音)
- 6 曲戻し/曲送り
- 7 BF/PAIRボタン：Bluetoothモードで再生一時停止・再開します。長押しでBluetoothペアリング機能が有効になります。また、Bluetooth機器のペアリングを解除します。



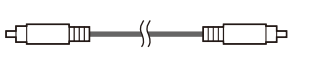
④ 3.5mmステレオミニジャックケーブル



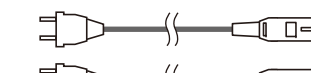
⑤ RCA-3.5mm変換ケーブル



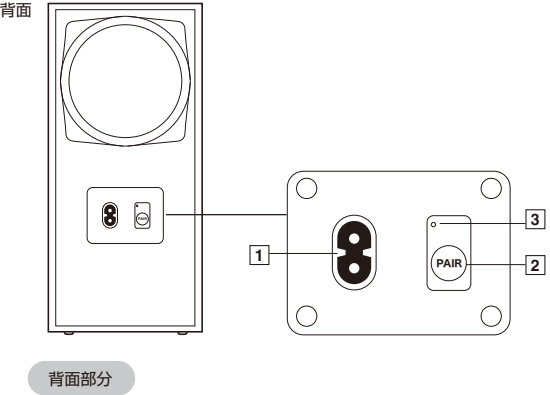
⑥ 光デジタルケーブル



⑦ ACコード



② サブウーハー



- 1 AC電源コネクタ：ACコードを接続します。
- 2 ペアリングボタン：ペアリングボタンを押すことでサブウーハーとサウンドバーを手動でペアリングすることができます。
- 3 ペアリングLED
橙(点灯)：サウンドバーと正常に接続中。
橙(高速点滅)：サウンドバーとペアリング中。
橙(低速点滅2秒/回)：サウンドバーとのペアリングに失敗しています。
橙(低速点滅5秒/回)：スリープモード。

❗ サブウーハーには音量機能調整機能はありません。音量調整/低音出力についてはサウンドバー本体の音量調整と連動されます。

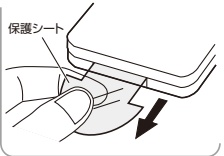
リモコンを準備する

リモコンにより、本製品を離れた場所から操作できます。

- リモコンが有効範囲(6m)内で操作されていても、本製品とリモコンの間に障害物があるとリモコン操作ができないことがあります。
- 赤外線が発生する他の製品の近くでリモコンを操作する場合、または赤外線を使用する他のリモコン装置を本製品の近くで使用すると、誤動作する可能性があります。逆に他の製品が誤動作する可能性があります。

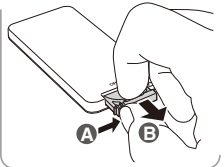
【初めて使用する場合】

リモコンにはリチウムCR2025電池があらかじめ取付けられています。保護シートを外して、リモコンのバッテリーを有効にします。

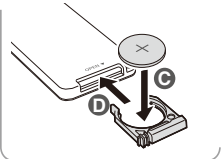


【リモコンの電池を交換する】

- リモコンには、CR2025 3Vリチウム電池が必要です。
1. バッテリートレイの側面にあるタブをトレイの方向(A)に押しします。
 2. 電池トレイを(B)方向にスライドさせて、リモコンから外します。



3. 古い電池を外します。示されているように正しい極性(+)で新しいCR2025電池をトレイに入れてください。(C)
4. バッテリートレイを(D)方向スライドさせてリモコンのスロットに戻します。



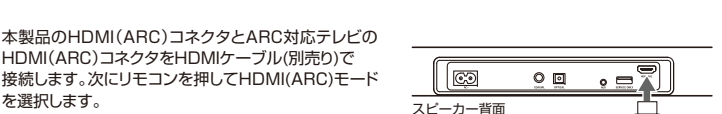
❗ 電池に関する注意事項

- リモコンを長期間(1ヶ月以上)使用しない場合は、電池が漏れないようにリモコンから取出してください。
- 電池が液漏れしている場合は、電池収納部内の液を拭き取り、新しい電池と交換してください。
- 指定以外の電池は使用しないでください。
- 電池を加熱したり、分解したりしないでください。火や水に投げ込まないでください。
- 電池を他の金属製のものと一緒を持ち運びまたは保管しないでください。電池がショート、液漏れ、破裂の原因となります。
- 充電式であることが確認されていない限り、絶対に充電しないでください。

6.接続例

HDMI (ARC)接続

ARC(オーディオリターンチャンネル)機能を使用すると、1つのHDMI接続を介してARC準拠のテレビからサウンドバーにオーディオを送信できます。ARC機能を楽しむには、テレビがHDMI-CECとARCに準拠していることを確認し、それに応じて設定してください。正しく設定されているれば、テレビのリモコンを使ってサウンドバーの音量出力(VOL +／-およびミュート)を調整できます。また、テレビの電源と連動して動作します。



- テレビがHDMI-CECおよびARC機能をサポートしている必要があります。HDMI-CECとARCはオンに設定する必要があります。
- HDMI-CECとARCの設定方法はテレビによって異なります。ARC機能の詳細については、テレビ側の取扱説明書を参照してください。
- ARC機能をサポートするHDMI 1.4以上に対応したHDMIケーブルをご使用ください。

- ! ARCの仕様上、音声テレビからサウンドバーに切り替わるまで、タイムラグが発生する場合があります。

光デジタル(角型)入力コネクタを使用する

光デジタル(角型)の保護キャップを外し、**A**、光デジタルケーブル(付属)をテレビの光デジタルコネクタと本製品の光デジタル入力コネクタに接続します**B**。次にリモコンを押して、光デジタル(OPTICAL)モードを選択します。



同軸デジタル入力(COAXIAL)コネクタを使用する

テレビの同軸デジタル(COAXIAL)コネクタと本製品の同軸デジタル(COAXIAL)コネクタを同軸デジタル(COAXIAL)ケーブル(別売り)で接続します**C**。次にリモコンを押して同軸デジタル(COAXIAL)モードを選択します。

- ! HDMI ARC / OPTICAL / COAXIALモードのときに、本製品から音声出力されず、HDMI ARC / OPTICAL / COAXIALランプがすばやく点滅する場合は、ソース機器(例:テレビ、パソコン、DVDまたはブルーレイプレーヤーなど)でPCM信号出力を有効にする、または変更する必要があります。



AUX(3.5mmステレオミニジャック)コネクタを使用する

A RCA-3.5mm変換ケーブル(付属)を使用して、テレビのオーディオ出力コネクタを本製品のAUXコネクタに接続します。

B 3.5mmステレオミニジャックケーブル(付属)を使用して、テレビまたは外付けオーディオデバイスのヘッドホンコネクタを本製品のAUXコネクタに接続します。



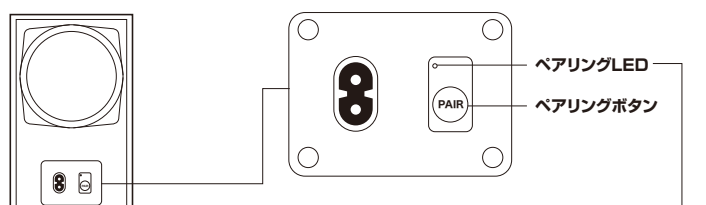
ACコードを本製品のAC電源コネクタに接続してから、ご家庭の電源コンセントに差し込みます。

- ! AC電源コードを接続する前に、他のすべての接続が完了していることを確認してください。

6.接続例(続き)

サブウーハーの設置

- サブウーハーをサウンドバー近くの平らな場所に設置してください。
- お買い上げ時、サウンドバーとサブウーハーはワイヤレス接続のペアリングはされています。サブウーハーの電源を入れると自動的にサウンドバー本体とつながります。
- サブウーハーが自動でつながらない時、もしくは何らかの要因でペアリング情報が消えた場合は手動で再ペアリングできます。
 - ペアリングボタンを3秒長押ししてください。ペアリング(橙)が高速点滅します。
 - LEDが橙点灯すればペアリング完了です。サウンドバー本体と接続されています。
 - ※LEDが低速点滅になる場合は接続できていません。サブウーハーとサウンドバーの距離を近づけてお試しください。



ペアリングLED	
橙(点滅)	サウンドバーと正常に接続中
橙(高速点滅)	サウンドバーとペアリング中
橙(低速点滅2秒/回)	サウンドバーとのペアリングに失敗しています。
橙(低速点滅5秒/回)	スリープモード

- ! サブウーハーには音量機能調整機能はありません。音量調整/低音出力についてはサウンドバー本体の音量調整と連動されます。

7.操作方法

基本操作

スタンバイ・電源ON

- 初めて本製品を電源コンセントに接続すると、スタンバイモードになります。
- 本製品またはリモコンのボタンを押して電源を入れます。
- もう一度ボタンを押すと、スタンバイモードに戻ります。
- 本製品の電源を完全に切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

自動電源OFF機能

テレビまたは外部機器の接続が切断されたり、電源が切れたり、音量がミュートに近づきすぎたりすると、約15分後に自動的にスタンバイモードになります。
※本製品の電源を完全に切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

入力モードを選択

- 本製品のソース切替えボタン、またはリモコンのAUX、BT(Bluetooth)、OPTICAL、COAXIAL、HDMI ARCボタンを繰り返し押して、目的のモードを選択します。
- 本製品前面のLEDランプは、現在どのモードが使用されているかを示します。

赤	スタンバイモード
緑	AUX(LINE)モード
青	Bluetoothモード
橙	光デジタル(角型)モード
橙点滅	同軸デジタル(COAXIAL)モード
白	HDMI (ARC)モード

音量を調整する

- 本製品またはリモコンのVOL +／-ボタンを押して音量を調節します。
- 音を消したい場合は、リモコンの(ミュート/消音)ボタンを押してください。もう一度(ミュート/消音)ボタンを押すか、本製品またはリモコンのVOL +／-ボタンを押して、通常の音声出力を再開します。

- ! 音量を調整している間、ステータスLEDインジケータが素早く点滅します。音量が最大/最小値レベルに達すると、ステータスLEDが1回点滅します。

イコライザー(EQ)効果を選択

- 再生中にリモコンのNEWS、MOVIE、MUSICボタンを押して、希望のプリセットイコライザーを選択します。

NEWS	NEWSを聞くのにおすすめ	緑LEDが2回点滅
映画	映画鑑賞におすすめ	橙LEDが2回点滅
MUSIC	音楽鑑賞におすすめ	青LEDが2回点滅

7.操作方法(続き)

AUX / OPTICAL / COAXIAL / HDMI ARC 操作方法

- 本製品がテレビまたはオーディオ機器に接続されていることを確認します。
- 電源ONモードで、本製品のソース切替えボタン、またはリモコンのAUX、OPTICAL、COAXIAL、HDMI ARCボタンを繰り返し押して、目的のモードを選択します。
- オーディオ機器を直接操作(再生)します。
- VOL +／-ボタンを押して、音量を好みのレベルに調節します。

- ! HDMI ARC / OPTICAL / COAXIALモードのときに、本製品から音声出力されず、HDMI ARC / OPTICAL / COAXIALランプがすばやく点滅する場合は、ソース機器(例:テレビ、パソコン、DVDまたはブルーレイプレーヤーなど)でPCM信号出力を有効にする、または変更する必要があります。

8.Bluetooth接続

初めてBluetooth接続を行うときや、ペアリング情報が削除されたときは、ペアリングを行う必要があります。ペアリングとは通信を行う機器(相手機器)に本製品を登録させる操作です。相手機器によりペアリング方法が異なりますので、下記参考例に従ってペアリングしてください。

- ! スムーズなペアリングを行うため一度全ての手順を読んでから実際の操作を行ってください。途中操作で間違った場合、正常にペアリングできなくなります。その際は一度電源を切り、再度手順を確認してからペアリングを行ってください。

<各機器との接続について>

一度ペアリングすると、機器の電源をOFFにしても設定が残ります。再度電源をONにすると、そのまま使用できます。接続が切断されている場合は、接続またはペアリングを行ってください。

- ! 同時に他の機器と同じプロファイルで接続(使用)することはできません。

Bluetoothで本製品に接続している場合は、メディア機器の音楽を再生出力することができます。

- 本製品とBluetoothデバイスの間の動作距離は約8メートルです(Bluetoothデバイスと本製品の間に障害物がないこと)
- すべてのBluetoothデバイスとの互換性は保証されていません。
- 本製品とBluetooth機器の間に障害物があると、動作範囲が狭くなります。
- 信号強度が弱い場合、Bluetoothレシーバーは切断される可能性があります。自動的にペアリングモードに戻ります。

Bluetoothデバイスから再生方法

- 本製品の電源をONにし、ソース切替えボタンまたはリモコンのBT(Bluetooth)ボタンを押して、Bluetoothモードを選択してください。青色のLEDが点滅します。
- Bluetoothデバイスを起動して検索モードを選択します。Bluetoothデバイスリストに「400-SP094」と表示されます。
 - ※本製品が見つからない場合は、リモコンの「BF / PAIR」ボタンを押し続けて検索可能にしてください。
- ペアリングリストで「400-SP094」を選んでください。「ペア」の音声プロンプトの後、正常に接続され青色のLEDが点灯します。
- 接続したBluetooth機器から音楽を再生します。

- ! ●必要に応じてパスワードに「0000」を入力してください。
- 2分以内に他のBluetoothデバイスが本製品とペアリングしない場合、本製品は以前の接続に戻ります。
- デバイスが操作範囲を超えて移動した場合、本製品との接続は切断されます。
- デバイスを本製品に再接続したい場合は、動作範囲内に置いてください。
- 接続が切断された場合は、手順に従ってデバイスと本製品を再度ペアリングしてください。

Bluetoothデバイスからの再生方法

接続されているBluetoothデバイスがアドバンストオーディオディストリビューションプロファイル(A2DP)をサポートしている場合は、プレーヤーを介してデバイスに保存されている音楽を聴くことができます。デバイスがAVRCP(Audio Video Remote Control Profile)もサポートしている場合は、本製品のリモコンを使用してデバイスに保存されている音楽を再生できます。

- デバイスを本製品とペアリングします。
- お使いのデバイスで音楽を再生します(A2DPをサポートしている場合)。
- AVRCPをサポートしている場合は、付属のリモコンを使って再生を制御します。再生を一時停止/再開するには、リモコンのBF / PAIRボタンを押します。曲をスキップするには、リモコンの曲戻し/曲送りボタンを押します。

9.よくある質問

本製品に問題が生じた場合は、下記の点をご確認ください。

- Q)電源が入らない。**
A) 1.本製品のACコードが、家庭用電源コンセントに正しく接続されているかご確認ください。
2.一度ACコードをコンセントから抜き、数分後に再度電源に接続してください。
3.他の電源コンセントでお試しください。
4.電源ボタンを押して電源を入れてください。

- Q)音が出ない**
A) 1.音量を上げます。本製品またはリモコンの音量を上げてください。
2.本製品がミュートになっていないことを確認するためにリモコンのミュートボタンを押してください。
3.ソース切替えボタンを押して別の入力ソースを選択します。

Q)光デジタル・同軸デジタル接続の場合

- A) 1.テレビ側の「音声出力設定」を行わないと光デジタル出力から音声出力されない場合があります。テレビ側の取扱説明書をご確認いただき、音声出力が光デジタル出力に切替わっているかご確認ください。
2.テレビからの出力をPCMに変更してください。
3.テレビが可変オーディオ出力に設定されている可能性があります。音声出力設定が「可変(VARIABLE)」ではなく「固定(FIXED)」または「STANDARD」に設定されていることを確認してください。詳細については、テレビの取扱説明書を参照してください。

- Q)リモコンが機能しない**
A) 1.リモコンと本製品の間の距離を近づけてください。
2.電池の極性(+/-)を指示どおりに入れてください。
3.電池を交換してください。
4.リモコンを本製品 前面のリモコンセンサー(受光部)に向けてください。

- Q)Bluetoothデバイスで本製品(400-SP094)が表示されない。**
A) 1.Bluetooth機能がBluetoothデバイスで有効になっていることを確認します。
2.本製品とBluetoothデバイスを、再ペアリングします。
3.本製品への外部入力信号レベルが低すぎると、15分後に本製品の電源が自動的に切れます。外部機器の音量を上げてください。

10.保証規定

- 保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。取扱説明書、本体ラベル、表示等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合、弊社所定の方法で交換いたします。
- 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
 - 保証書をご提示いただけない場合。
 - 所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 故障の原因が取扱以上の不注意による場合。
 - 故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
 - 天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。
 - 譲渡や中古販売、オークション、転売などでご購入された場合。
- お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接・間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての補償はいたしかねます。
- 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが発生しても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。

保証書		サンワサプライ株式会社	
型番: 400-SP094	シリアルナンバー:		
お客様・お名前・ご住所・TEL			
販売店名・住所・TEL			
担当者名			
		保証期間 6ヶ月	お買い上げ年月日 年 月 日

保証規定

- 保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。取扱説明書、本体ラベル、表示等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合、弊社所定の方法で交換いたします。
- 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
 - 保証書をご提示いただけない場合。
 - 所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 故障の原因が取扱以上の不注意による場合。
 - 故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
 - 天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。
 - 譲渡や中古販売、オークション、転売などでご購入された場合。
- お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接・間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての補償はいたしかねます。
- 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが発生しても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。

保証規定

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。

サンワサプライ株式会社